

写真の町 通信号外01

毎年夏に発行される『写真の町通信』。2019年からは毎月、号外として、写真に關するあんなことやこんなことを、発信していきます！

Vol.01 写真を知ろう

□写真ってなんだ？

写真とは、光を固定し記録することや記録したもののことです！

写真は、英語では“photography”
これはギリシア語 (phos: 光 graphain: 描く/描くこと) から来ており、
「光を描く」という意味です。
そのため、日本でも「光画」「ウガ」と訳されることもありまし。

もしかすると
“光画の町”東川
だったのかも・・・？

□写真と芸術

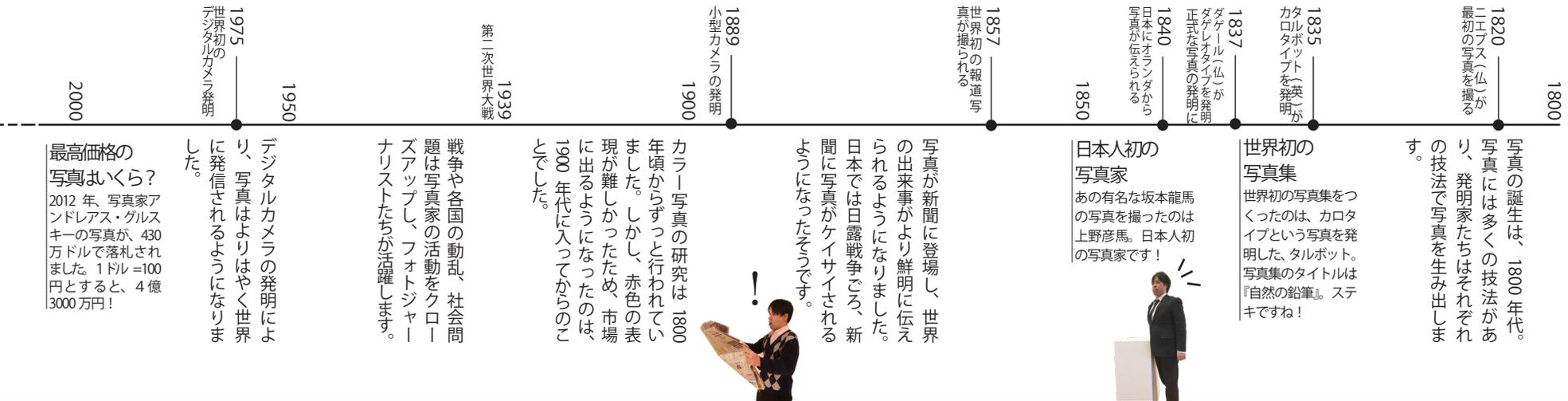
それまで社会的メッセージを発信していた絵や文学をはじめとするさまざまな芸術。とくに、人物の姿を残したり、見たことのない景色を伝えるのはそれまで絵の役割でした。しかし、写真の登場により芸術の世界は大きなショウゲキを受けます。「これで絵画は死んだ」と叫んだ画家のジユウチンもいたとか。

こんな精密に描写できるなんて・・・写真にできないことを探さなきゃ！

19世紀の表現者たちは新しい方法を、写真家は芸術としての写真を、それぞれモサクしていきまし。

□写真の歴史

写真は、音楽や絵画の長い歴史に比べ、とーっても若い分野です！



世界初の写真集
世界初の写真集をつくったのは、カロタイプという写真を發明した、タルボット。写真集のタイトルは『自然の鉛筆』。ステキですね！

日本人初の写真家
あの有名な坂本龍馬の写真撮ったのは上野彦馬。日本人初の写真家です！

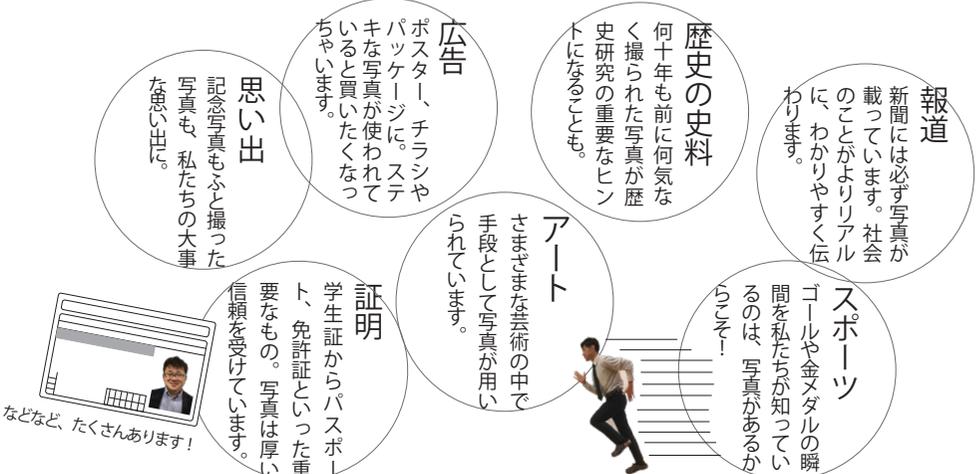
写真が新聞に登場し、世界の出来事がより鮮明に伝えられるようになりました。日本では日露戦争ごろ、新聞に写真がケイサイされるようになったそうです。

カラー写真の研究は1800年頃からずつと行われていました。しかし、赤色の表現が難しかったため、市場に出るようになったのは、1900年代に入ってからのことでした。

戦争や各国の動乱、社会問題は写真家の活動をクロージアップし、フォトジャーナリストたちが活躍します。

デジタルカメラの發明により、写真はよりはやく世界に発信されるようになりまし。

□写真が活躍する分野



□写真と私たちの生活

写真の歴史はまだ200年にも満たないものです。デジタルカメラは50年未満。しかし、日常の中に写真を見ない日はほとんどないでしょう。携帯電話やスマートフォンのカメラを含むと、カメラは一家に2台とも言われています。まだまだ若い写真文化、これからどんな風に発展していくのでしょうか。

文化ギャラリー information

- 1/1~1/7 年始休館
- 1/8 展示入れ替え日
- 1/9~1/30
- ・写真甲子園 2018 本戦大会作品展
- ・第34回写真の町東川賞寄贈記念作品展

フォトフェスタや写真甲子園のフェイスブックやインスタグラムをご存知ですか？フォトフェスタや甲子園の情報ははじめ、さまざまな出来事を発信しています！ぜひいいね！やフォローをお願いします！

